



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 2月号 (No. 19)

令和3年2月19日発行



「鬼」はどこにいる？



2月3日が節分と思っていたら、今年は2月2日が節分とのこと。地球の公転周期と暦のズレのために124年ぶりに2月2日になったと聞きます。地球は太陽を365日と6時間弱かけて1周します。4年間で立春の通過時刻は1日ほどの遅れが生じるため、4年に一度はうるう年を設けて補正しています。しかし、公転周期と4年間の時間のずれは24時間に満たないため…。



難しい話はさておき、節分と言えば「豆まきと鬼退治」がすぐに浮かびます。2月の全校朝会ではその「節分」の話をしました。子どもたちに「鬼はどこにいますか？」と問い掛けたところ、反応は…。体育館は「シーン！」と静まりかえってしまいました。中に一人だけ、自分の胸を指さす子どもがいました。「そうだね。自分の中にいるんだね。」その子のおかげで次の話へと移ることができました。スライドで「おなかのなかに“おに”がいる」という絵本の表紙を示しながら、「自分の中にどんな鬼がいるかな？こんな鬼じゃないかな。」これまた、スライドで「寝坊鬼・怒りん坊鬼、怠け者鬼、食べ過ぎ鬼、…」などを紹介しました。



節分を機に、鬼退治の「豆まき」集会や福豆をもらうなどのお楽しみの活動もあるのですが、それだけではなく、自分自身を見つめ、振り返り、自らを成長させるための気付きや目標をもつことも大切にしています。生活単元学習で、一人一人が追い出したい鬼のカードを作成して発表したり、友達のがんばりを応援したりするなど、“一人で” “みんなで” よりよい自分になることをがんばっています。今年度もあと1か月ほどとなりました。最後の仕上げを、そして来年度に向けての準備を進めていきます。

糸魚川地区更生保護女性会の皆さん、ありがとうございます！

糸魚川地区更生保護女性会の皆さんから、中学部の卒業生に、右の手紙と共に、右の手紙と共に、ビニル袋に入った布張りのエチケットケースをいただきました。

心温まるプレゼントに感激しています。

卒業生の皆様へ

ご卒業おめでとうございます。希望に胸膨らませていることでしょう。

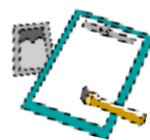
私達は次代を担う青少年の健全育成と、心豊かに生きられる明るい社会作りを目指している糸魚川地区更生保護女性会です。

皆さんの住むふるさとがごみの無いきれいな街になることを願って、この袋を作りました。





「思い」を筆に乗せて！

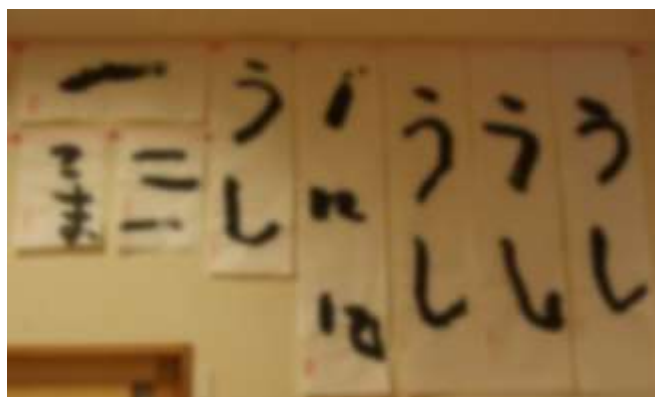
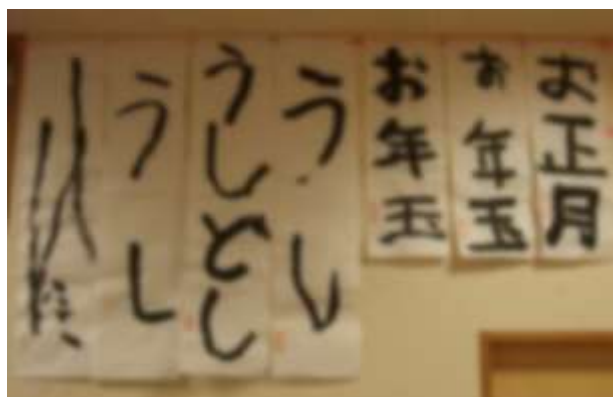


～ギャラリー「ひすい」～

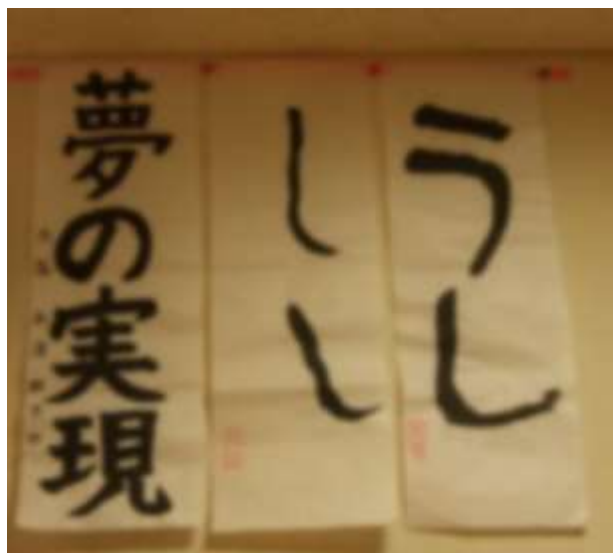
遅ればせながら、「書き初め」作品を紹介します。1月下旬～2月の初めにかけて、小学部・中学部でそれぞれ「書き初め」をしました。当初は、冬休み明けに「書」に臨む予定でしたが、1月9日～11日の大雪のために学校が4日間臨時休校となり、取組が少し後ろへずれ込んでしまいました。



【中学部作品】



【小学部作品】



個性溢れるなかなかの作品です。中学部の生徒は、自らの「思い」というよりは「志」を書に表した感があります。また、小学部の児童は、新年にちなんだ言葉を、思い思いにのびのびと表現しています。

「書は体を表す」と言います。書き表された文字の大きさや太さ、筆勢やバランスなどに、その人の人格や心が見て取れるからでしょう。確かに、一つ一つの作品から、その子の表情が浮かんで見えるような気がします。